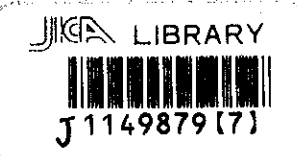


ヴィエトナム社会主義共和国
リプロダクティブヘルスプロジェクト
計画打合せ調査団報告書

平成 10 年 7 月



国際協力事業団
医療協力部

ヴィエトナム社会主義共和国リプロダクティブヘルスプロジェクト計画打合せ調査団報告書

平成 10 年 7 月

国際協力事業団



医協一
J R
98 - 28

ヴィエトナム社会主義共和国
リプロダクティブヘルスプロジェクト
計画打合せ調査団報告書

平成 10 年 7 月

国際協力事業団
医療協力部



1149879 [7]

序 文

ヴェトナム社会主義共和国リプロダクティブヘルスプロジェクトは、同国の中でも特に貧困で、助産婦数が少ない北中部のゲアン省をモデル地区として同地域における妊産婦ケアにかかわる保健行政の強化および、村でのサービスの向上を図り、リプロダクティブヘルスの向上に寄与するため平成9年6月から3年間の予定で協力が開始されました。

今回の調査は、本プロジェクトの実施期間の中間にあたり、上記の協力活動が軌道に乗りつつあるところ、先方関係機関と合同で協力内容の中間評価を行い、今後の対処方針を協議するため玉田太朗 日本思春期学会副理事長を団長として平成10年7月12日より19日まで派遣されました。

調査団はゲアン省の人民委員会の副委員長を代表とするヴェトナム社会主義共和国側関係者とプロジェクトチームとの合同委員会に出席し、その結果についてミニッツに取りまとめ、署名交換を行いました。

本報告書は、その調査結果をまとめたものです。

ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる感謝の意を表しますとともに、プロジェクトの効果的な実施のために、今後とも、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成10年7月

国際協力事業団

医療協力部長 福原 毅文



写真1
ハノイで保健省訪問



写真2
左から近団員、青木団員、玉田団
長、通訳、松永団員



写真3
計画投資省



写真 4

MCH/FP センターに対する 1997 年
供与機材贈呈式（7月 15 日）
左が所長の Dr. Phuong で右がチー
ムリーダーの石井澄江氏

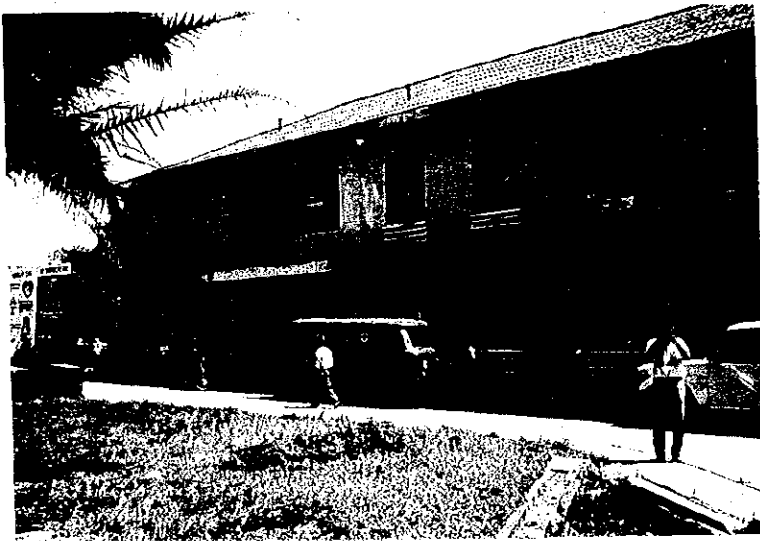


写真 5
省病院



写真 6

産婦と赤ちゃん。ヴェトナムの病
院は多くが母児同室。



写真7
中級医療学校

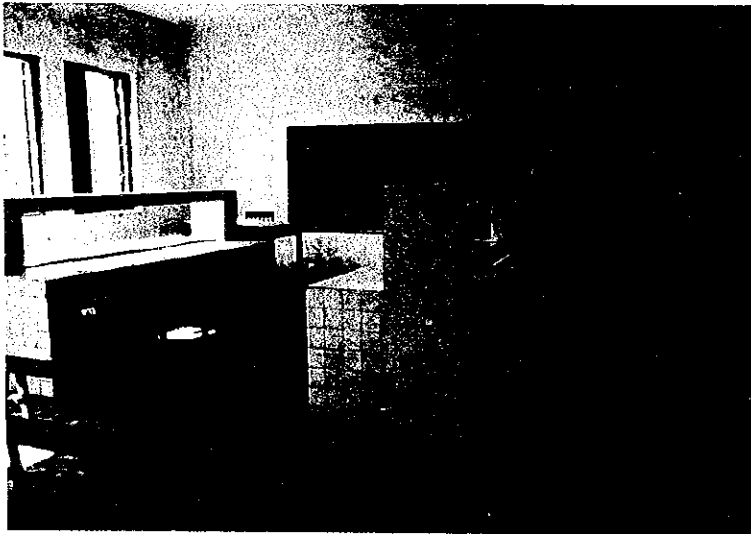


写真8
学校の教室



写真9
Ma Thin コミュニオン保健所



写真 10
分娩室



写真 11
病室



写真 12
Kim Lien の CHC 分娩室は、他より
も清潔で整っている。



写真 13
Ma Thin から Kim Lien へ
移動中の車窓より。



写真 14
合同委員会。ヴェトナム側参加
者。



写真 15
調査団と日本人専門家。



写真 16
ミニッツ署名交換
ハン人民委員会副委員長（左）と
玉田団長（右）

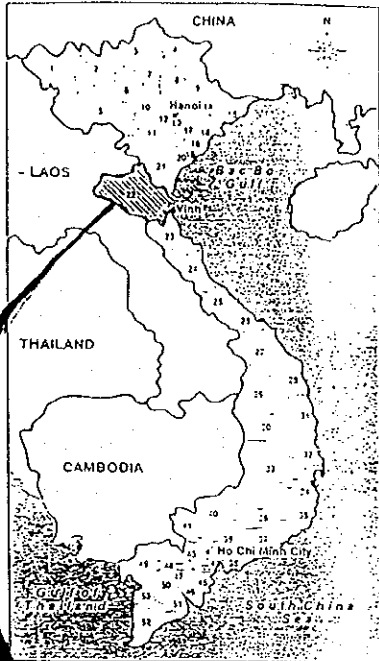


写真 17
同上

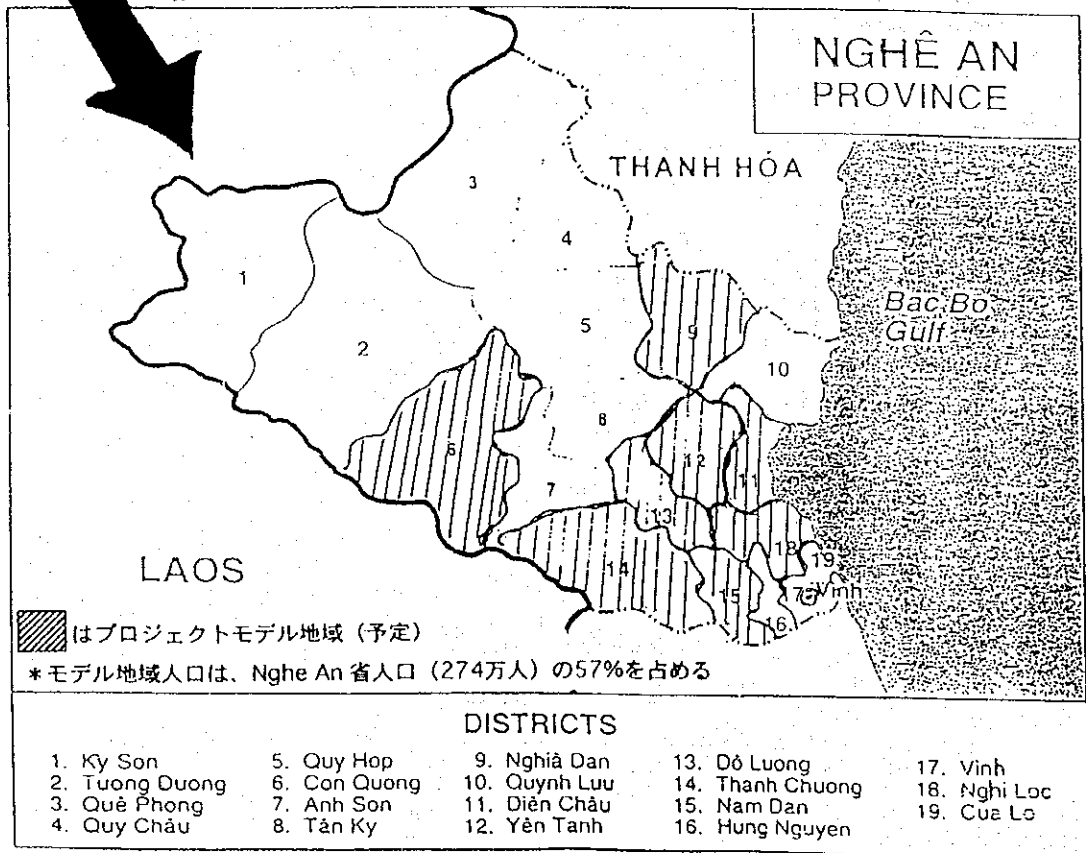
ヴェトナム社会主義共和国およびゲアン省地図

ゲアン省基礎データ

- 位置 : ハノイから約350km
空路一約1時間(週3便)
陸路一約8時間
- 面積 : 16,442km²(2/3が山岳部)
国内第2位(岩手:15,275km²)
- 気象 : 年平均降雨量1,930mm
最多3,000mm、最小1,000mm
- 人口 : 274万人
国内第3位(広島:286万人)
人口の92%が農村部に居住
- 郡数 : 19郡
- コミュニティ数 : 455コミュニティ(村)
- 年収/人 : 50ドル(全国平均170ドル)
下から2番目の貧困省
- 世帯当たり
可耕地面積 : 0.27ha(全国平均0.5ha)
- 主要農作物 : 米、さつまいも、とうもろこし
落花生、胡椒
- 林業 : 松、ユーカリ
- その他 : ホーチミンの生誕地であり多くの閣僚を選出している



ヴェトナム : 33.1万平方km
日本 : 37.7万平方km



目 次

序 文
写 真
地 図

1. 計画打合せ調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
2. 要約	5
3. プロジェクトの進捗状況（協力部門別活動）	7
3-1 専門家派遣	7
3-2 研修員受入れ（カウンターパート研修）	7
3-3 資機材供与および利用状況	7
3-4 中堅技術者研修等	7
4. 実施計画の詳細年次計画	9
5. 実施運営上の問題点	10
6. 調査団所見	12
6-1 調査概要	12
6-2 団長所感	15
7. 合同委員会の協議結果	17

附属資料

① 活動報告（概要）	21
② 平成 10 年度活動計画	42
③ “Minutes of Discussions”	48
④ 「総合報告書」石井（山口）澄江	90
⑤ 長屋祥子短期専門家報告（母子保健行政分野）	99

1. 計画打合せ調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

ヴェトナム社会主義共和国（以下、ヴェトナムと略す）は低所得国にもかかわらず、少ない予算で全国民をカバーする効率的な保健医療政策が行われてきたため、乳児死亡率は 32.6（1995）、妊産婦死亡率は 100 前後と、保健指標は開発途上国のなかでは中位に位置している。

医療従事者数は周辺国より多いものの、ヴェトナム戦争当時に行われた暫定的な人材育成であったことから、医療従事者は十分な訓練を受けていない状況にある。このため特に妊産婦のケアが不十分な状況にあり、1996 年の保健省データにおいては周産期障害による新生児および妊産婦の死亡が、全国の病院における第 4 の死亡原因となっており、妊産婦死亡率は 1980 年代から横ばいである。

そこで、ヴェトナムは、当国の中でも特に貧困で、助産婦数の少ない北中部のゲアン省をモデル地区として出産ケアを切り口としたリプロダクティブヘルスにかかわる保健行政の強化および、村でのサービスの向上を図ることを目的とするプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

上記要請に基づき、わが方は 1997 年 4 月 5 日に下記の内容の 3 年間の協力を行うことで、討議議事録（R/D）の署名交換を行った。

- ①省全体のリプロダクティブヘルス促進機関としてのゲアン省母子保健・家族計画センター（MCH/FP センター）の機能強化
- ②村の保健所でのリプロダクティブヘルスサービス（清潔で安全な分娩を含む）の質の改善
- ③住民に対するリプロダクティブヘルスの情報と教育の提供
- ④郡病院の母子保健移動チームの機能（村の保健所のスタッフの再訓練のフォローアップ、監督、モニタリング）の強化

現在、プロジェクト開始後、1 年近くが経過し、以下のように一定の進捗がみられる。

- ①短期専門家として日本から、保健行政、その他の専門家を計 6 名派遣し、現地カウンターパートへの指導、協力を行った。また、現地から 2 名の専門家を受け入れ、日本でカウンターパート研修を行った。
- ②中堅技術者養成対策事業費、啓蒙普及予算にてプロジェクト地区の 1,981 名に対し、2 日から 7 日間の研修をのべ 42 回実施し、プロジェクトの理解が図られた。
- ③コミュニオン保健センター（CHC）の助産婦、補助医師等再教育プログラムについては、2 コース 50 人の再教育が終了した。
- ④要請に沿った機材リストに基づいて、MCH/FP センター、各郡、66 の CHC に対して医療機材、教育、モニタリング機材などの供与を行った。
- ⑤広報活動は、ワークショップなどがヴェトナムテレビで放映されたのをはじめ、地方テ

テレビでもたびたび紹介されている。

上記実状を踏まえ、本調査団はプロジェクトの活動進捗状況を把握・評価し、計画内容の軌道修正の必要性や実施体制の問題点等についての検討を行い、必要に応じて提言を行うことを目的として、1998年7月12日から19日までの日程で派遣された。

1-2 調査団の構成

	担 当	氏 名	所 属
団長	総 括	玉田 太朗	日本思春期学会副理事長
団員	NGO 連携	近 泰男	(財)家族計画国際協力財団 常任理事
団員	助産婦教育	青木 康子	桐生短期大学看護学科 企画推進室教授
団員	協力計画	松永 龍児	国際協力事業団医療協力部医療協力第一課 課長代理

1-3 調査日程

日順	月 日	曜日	移動および業務
第1日	7月12日	日	移動 東京ーハノイ (香港経由)
2日	7月13日	月	表敬および打合せ 在ヴェトナム日本国大使館、JICA ヴィエトナム事務所、保健省、計画投資省
3日	7月14日	火	移動 ハノイーゲアン 調査団内打合せ
4日	7月15日	水	表敬 ゲアン省人民委員会 視察 MCH/FP センター、省病院、中級医療学校
5日	7月16日	木	フィールド視察 (午前: Yen Thanh District, 午後: Nam Dan District)
6日	7月17日	金	合同委員会、ミニッツ署名交換
7日	7月18日	土	移動 ゲアンーハノイ
8日	7月19日	日	移動 ハノイー東京

1-4 主要面談者

ハノイ

7月13・14日

・保健省

チャン・バン・ホップ 国際局次長

グエン・ファイ・タエン 国際局プログラム・オフィサー

グエン・ディン・ロアン 母子保健・家族計画局次長

・計画投資省

ドー・シュアン・マオ 労働文化社会局長

ディビット・ティ・トウ 社会局専門家

・日本国大使館

伊藤 康行 二等書記官

・JICA ヴィエトナム事務所

地曳 隆記 所長

大久保 久俊 職員

ゲアン省

7月15日

・ゲアン省人民委員会

グウエン・ティ・ハン 副委員長

・MCH/FP センター

ボ・テユイ・フォン MCH/FP センター所長

ドー・ティ・ムイ MCH/FP センター副所長

・ゲアン省 省病院

チャン・クワン・フォン 計画課長

グエン・ディン・フォン 副院長

チャン・ディン・ヴィエン 副院長

・中級医療学校

カオ・トロ・シン 副校長

7月16日

(1) イエンタイン郡

・郡病院

・イエンタイン郡人民委員会

グエン・ニュ・リン 副委員長

・イエンタイン郡マータイン CHC

レ・バン・タン・コミュニン 人民委員会委員長

チャン・ディン・トゥルン マータイン CHC 所長

(2) ナムダン郡

・ナムダン郡人民委員会

グエン・クオック・キエン 人民委員会副委員長

レ・トロク・フエ 人民委員会管理部長

・郡病院

グエン・ヴァン・トゥア 病院長

- ・ キムリエン CHC
 - チャン・カック・アン 副院長
 - レ・スアン・ホアン 産婦人科医長
 - ヴォン・トゥック・ディン キムリエン CHC 所長
(現在、タイ・ビン医科大学で勉学中)
 - レ・ティ・テュ CHC 所長代行

7月17日

- ・ 合同委員会：MCH/FP センターにて
 - ファム・ウン 保健局長
 - ボ・テュイ・フォン MCH/FP センター所長
 - ドー・ティ・ムイ MCH/FP センター副所長
 - チャン・クワン・フォン 計画課長
 - グエン・フォン・テュイ プログラム・アシスタント
 - ドウオン・ヴァン・ラム プログラム・アシスタント
- ・ ミニッツ署名式：MCH/FP センターにて
 - グエン・ティ・ハン 人民委員会副委員長
 - ファム・ウン 保健局長
 - ボ・テュイ・ムイ MCH/FP センター副所長
 - グエン・フォン・テュイ プログラム・アシスタント

2. 要約

本調査団の目的は、①プロジェクト活動のレビューおよび、② PDM の指標の見直しであった。

①に関しては現地視察およびプロジェクト関係者、専門家およびカウンターパートとの面談、打合せにて行った。

②に関しては、短期専門家の意見、調査団派遣前の会議において PDM 指標に無理のある点は事前にわかっており、先方との打合せのうえ、改訂することとした。

調査は日程どおり順調に行われ、7月17日に合同委員会開催の後、ミニッツ署名交換を行った。

以下、今般の調査の概略を示す。

(1) プロジェクトの活動状況

本プロジェクトは 1997 年 6 月の協力開始後、1997 年度はベトナム側では MCH/FP センターのプロジェクト事務所、研修室の増築およびゲアン省からの予算確保が行われ、1998 年度は検査室を建設中である。

カウンターパートおよび薬品についてもベトナム側が責任をもって確保している。

日本側は、長期専門家 3 名（リーダー、調整員、助産婦）、短期専門家 6 名派遣、機材供与（MCH/FP センター、DHC、CHC）、2 名の研修員受入れ、中堅技術者研修（50 名 / 244 名）、PCM 研修（29 名）、オリエンテーション（732 名）、タイとの技術交換（4 名）、および IEC ワークショップ（1,953 名）を実施した。

(2) PDM 指標の変更

上位目標とプロジェクト目標に同じ指標があったので違いを明確にし、また上位目標の指標について評価が明確にできないものがあったので、明確になるよう以下のように変更した。

上位目標の指標

①西暦 2000 年までに 1995 年時点で出生 10 万対 165 であった妊産婦死亡率を 155 まで下げる。

②西暦 2000 年まで毎年 1% ずつ低体重児出生率を下げる。

プロジェクト目標の指標

①プロジェクト地域内で終了時までには妊婦の平均検診受診回数が 3 回以上となる。

②地域内で妊婦検診を受ける妊婦が 95% に増加する。

- ③ CHC での施設分娩率が 85%に増加する。
- ④婦人科検診率が 2000 年まで毎年 2.5%ずつ増加する。
- ⑤地域内で出産数が毎年 2%ずつ減少する。
- ⑥地域内で破傷風予防接種を受ける妊婦の数が年間 2%ずつ増加する。
- ⑦地域内で MR を含む中絶件数が 2000 年まで年間 6%ずつ減少する。
- ⑧地域内で近代的避妊法実行率が年間 3%ずつ増加する。

(3) 合同委員会

上記(1)、(2)のプロジェクト活動状況報告および PDM 指標についての検討を行った。
上記内容につき双方で了解し、ミニッツとして取りまとめた。

3. プロジェクトの進捗状況（協力部門別活動、附属資料①）

3-1 専門家派遣

(1) 長期専門家

チーフアドバイザーを中心にチームワークがよく取れており、それを基盤に各々の分野の職責に応じた活動が積極的に行われている。また、CHC との連携もよく、CHC の人々からも慕われ、役割効果を倍加している。

(2) 短期専門家

大局的にまたさまざまな面からヴィエトナムのリプロダクティブヘルスの現状を知るとともに、ゲアン省について詳細に知ることができた。今後の活動を展開するうえで役立つものと考えられる。

3-2 研修員受入れ（カウンターパート研修）

1998年3月、日本での研修を終えた Dr.(Mr.)Vo Thuy Phuong は、温和で親しみやすく、すべてに協力的であり、派遣されている専門家の人々にとって力強い存在となっている。

3-3 資機材供与および利用状況

供与予定の資機材のリスト「EQUIPMENT LIST '97」のうち、3. Infant warmer および 24. Refrigerator を除いてはすでに供与されている。ただし、26. CHC Equipment については各 DHC を通じてこれから配布することになっている。

利用に関しては、2. Hematology Analyzer は、手術時に多用されている。また、5. Ultrasound は、5月中旬に配置され、看板を出したところ、希望者が続出している（1日に10人程度）。ただし、医師側の使用技術にいまひとつのところがあり、短期専門家による指導が必要との意見がある。

14. Overhead Projector、15. Screen、16. TOA Wireless Microphone System、27. Motorcycle は、各 DHC に配布され、教育上、また、交通手段として多用されている。

3-4 中堅技術者研修等

1997年度は2コースの CHC スタッフ教育が実施され、教育計画にあたってはマネジメントチームの自主性を尊重した方法をとったことから変化が起こり、積極的に取り組むようになった。

教育内容についても、1回目終了後、受講生の意向も取り入れて2回目の内容を検討、教育効

果の向上を図っている。

なお、CHC スタッフの再教育以外にもトレーニング・ワークショップ（啓蒙・技術交換）が短期間に精力的に行われており、そうした活動が現地の人々との交流を円滑にしているものと思われる。

4. 実施計画の詳細年次計画（附属資料②）

附属資料③のミニッツ添付書類「ANNEX10 ; Plan of Operation」を参照。

5. 実施運営上の問題点

プロジェクトが開始されてまだ1年にならない時点であり、日本側専門家とベトナム政府、ゲアン省政府との関係は大変良好であり、大きな問題は見出せないが、現時点では次の2点があげられる。

- ①プロジェクト推進にとって移動のための車（四輪駆動）は必需品であり、遅延している原因を可及的速やかに解決し、1日も早い車の配備が望まれている。
- ②カウンターパートのスタッフの中で日本語はもちろん、英語を理解できるスタッフが少ないことは当初から問題のひとつではあったが、最近に至り英語を話すスタッフの1名がアメリカに留学し、助産婦教育担当の医師の1名が胃ガンの疑いで手術する等、その欠員をうめることが当面の問題になっている。

これまでの経過を踏まえて、今後の課題として考えられるものは、以下のとおりである。

- (1) プロジェクトの開始が5カ月遅れた（6月開始予定が11月から）にもかかわらず、第1年度に計画された予定事業をすべて完了させたことは大いに評価されてよい。ベトナム側（ゲアン省）の真剣、かつ熱心な受入れ姿勢がプロジェクトの順調な進捗に大きな役割を果たしている。本プロジェクトの受入れにあたり、ベトナム側も積極的に資金投下を行っていることが認められる（研修用教室、分娩・入院棟、プロジェクト事務所の建設 [いずれも完成]、現在検査室棟建築中）。今すぐにその成果を云々することはできないが、これまでにまいた種をどう育てられるかが勝負であろう。
- (2) CHCの改善について、日本政府の草の根無償資金協力も決定され、これからセメント、タイル等補修資材が供給されるが、どう改善されるかが楽しみである。この場合、分娩室等の改善とともに、飲料水・トイレの改善もあわせて行うことが望ましい。
- (3) CHCの視察の際、医療廃棄物（注射針等）の処理方法について問題の起こらないよう考える必要があると思われた。
- (4) IECについてはまだ本格的活動が始まっていないが、教材の開発・製作とともに、CHCを拠点とした積極的な所外活動を定着させることが重要である。例えばハムレット（集落）単位の集会、助産婦による妊産婦訪問指導、女性連合・青年連合の協力を得て、相談員（連絡員）の委嘱・組織化、そのためのトレーニングの実施。

(5) CHC の所外活動を活発化する手だてのひとつとして、各 CHC に自転車を 2～3 台配備してはどうか。この場合、ベトナム製自転車の調達を考えられるが、予算措置が難しく、かつベトナム政府が関税免除等の特別措置を考えられるならば、「再生自転車海外譲与自治体連合会」に申請し、再生自転車の無償供与を受けることは可能であると考えられる。

(6) ナムダン郡のキムリエン CHC は施設、活動等からみてもモデルセンターとしての役割を果たし得ると考えられる。指導者の研修プログラムの一環として、このセンターの視察や活動事例の研究等積極的に活用してはどうだろうか。

(7) 本プロジェクトは 3 年間（実際には 2 年半）で終了することになっているが、妊産婦死亡・乳児死亡等の改善を成果目標とした場合には、最低 5 年間は継続する必要があると考えられる。しかし、3 年で終了した場合でも、移転した技術の持続を考慮し、青年海外協力隊員の派遣を実現することが望ましい（現状からみて、臨床検査技師、水質検査技師等）。

6. 調査団所見

6-1 調査概要

(1) 保健省

13日午前、Hop 国際協力局次長を表敬した。本プロジェクトに関しては、同省は技術的サポートを提供している。同次長は日頃よりの JICA の協力に関し、感謝を表明するとともに、「ゲアン省からは、日本の専門家が地域に溶け込み、効果をあげているとの報告を受け、感謝している。日本の経験をもとにより訓練を行っており、機材も立派なものを供与していただき、感謝している」と述べた。

また、今後は県レベル病院の医師教育の充実にも協力願いたいとの要望があった。

(2) 計画投資省

13日午後、Mao 局長を表敬し、調査団の目的、日程を説明したところ、本案件はゲアン省のプロジェクトであり、政府は保健省が管轄している。リプロダクティブヘルスについては、同局長としては、新しい考え方なのでまだよく理解していないが、当国は従来より、市町村レベルの保健指導システムが整備されており、本プロジェクトの効果に期待している。今回の調査の結果を帰国時に報告願いたいとのことであった。当方からは、事務所またはゲアン省を通じ報告することを約束した。

(3) フィールド調査

15日、16日の両日にわたり、フィールド調査を行った。概要は下記のとおりである。

1) MCH/FP センター (プロジェクト事務所)

先方負担で本プロジェクト事務所が新設され、現在、やはり先方負担で検査室を増築中である。供与された機材も活用されており、所長 (Dr. Vo Thuy Phuong) 以下、非常に前向き、協力的にプロジェクトに取り組んでいる。また、1997年度機材の贈呈式に立ち会った。

2) ゲアン省人民委員会

Han 副委員長は、本プロジェクトに熱心で、1998年カウンターパート研修で、本邦の母子保健の実際を視察する予定であるので、今後もスムーズな協力が期待される。署名式に参加したゲアン省保健サービス部長 Dr. Pham Ung も、本プロジェクトへの期待を表明した。

3) ゲアン省立病院

ポーランドの協力で建てられた病院であるが、建物の老朽化、医療機材の遅れが目

立った。副院長の案内で、産婦人科と意見を交換する機会がもてた。医師は熱心で施設や機材の老朽化にかかわらずよくやっているように見受けられた。省の分娩の約1割を扱っている。WHOのBaby Friendly Hospital（母乳率100%ほか10条件を満たす産科医療機関）である。

4) 中級医療学校

中級助産婦の養成を行っている学校であるが、夏休みのため授業風景は見学できなかった。本プロジェクトに関連する看護婦や助産婦の養成は十分行える施設であると見受けられた。中級助産婦、補助医師の養成を行っている。助産婦カリキュラムの改善、初級助産婦の再教育が進行中である。助産婦教育用のモデルなどの整備も進行している様子であるが、教育機材については可能ならば供与を検討する必要があると思われた。山岳地帯出身の志願者は、医師、助産婦の志願者とも優先的に入学させ、学費を全額補助する制度がある。

助産婦は、高卒後直接入学するいわゆる direct entry で、期間は2年半である。日本では、3年間の看護教育後1年間、計4年である。英国など direct entry で優秀な助産婦を養成している国もあるので一概には言えないが、清潔観念など基礎的な知識・技術が不十分であることも考えられる。しかし、カリキュラムを含めて教育レベルの向上に積極的に取り組んでいるようなので成果を期待したい。

5) Yen Than 郡（車で1.5時間、人口25万人、34コミューン）

a) 人民委員会

熱心であるという印象。

b) 郡病院

比較的きちんと管理されているという印象。医師数26人、うち産婦人科3人。分娩数800、うち帝王切開200。郡の総分娩数は6,113ということなので、当院分娩は約13%ということになる。省病院の場合もあてはまるが、下位施設からの転送数がわかれば、分娩の地域システムがうまく機能しているかどうか確認できる。帝王切開の率が高いことをみると、そのようにも解釈できる。

輸血、採血、HIV検査など実施しているが、HIV検査の実績はない。1998年調査団訪問時までの妊産婦死亡は5例ある。妊婦検診は100%実施しているというが、計算根拠は定かでない。全妊婦検診回数/出生数であるとする、多回受診者があれば、非受診者がいても100%を超える可能性がある。これに対し、破傷風予防接種率は85%であり、これが妊婦検診2回以上受診者数に近いと考えられる。日本の経験では、妊産婦死亡の大部分は非受診者から発生しており、まず非受診者をなくすことを目標にすることを薦めた。これは、PDMに採用された。

血圧は、全コミューンで測定できるが、貧血検査はできない。思春期少女の教育を実施しているとのことである。

c) CHC (Ma Tain 地区)

産室等は清潔とはいえないが、もののないなかではきちんとされていた。助産婦の宿泊施設もあり、自転車も置かれていた。しかし、井戸ならびに便所は速やかな改善が必要であると感じられた。

人口 1 万 608 人に対し、補助医師（現在省病院で PHC ドクターコース研修中）、産科補助医師、初級薬剤師、中級助産婦、初級看護婦 2 人の 6 人のスタッフがいる。生殖年齢女性は、2,500 人、うち既婚者 1,675 人。1998 年現在までの出生数 119、うち 103 が CHC で、16 が自宅分娩である。1997 年の分娩数は 291、妊産婦死亡は 1 であった。以後はない。

6) Nam Dan 郡（車で 20 分、人口 15 万人、24 コミューン）

a) 人民委員会

熱心で援助に慣れているという印象。

b) 郡病院

スタッフ 131 人、医師 22 人、補助医師 40 人、薬剤師 3 人、看護婦 42 人、事務職 23 人。他と比較してきちんと管理されているという印象。

c) CHC (Kim Lien 地区)

産室等も非常に清潔で、機材も揃っており、血圧計も作動した。他の CHC もこれぐらいきちんとすればよくなると考えられる。

(4) 合同委員会（17 日 8 時半～11 時）

出席者

ヴェトナム側：MCH/FP センター所長、同副所長、計画担当

日本側：プロジェクト専門家、JICA 事務所

オブザーバー：計画打合せ調査団

(会議内容)

ミニッツ案に沿ってセンター所長より内容確認がなされた。主たる討議内容は PDM 指標についてであり、プロジェクト目標に対する指標が一部、到達可能かつ入手可能な現実的なものに訂正された。

(5) ミニッツ署名

17日2時半より Han ゲアン省人民委員会副委員長と玉田団長の間で署名が交換された。この内容に沿って1998年度プロジェクトを双方が努力していくことを約束した。

6-2 団長所感

(1) 日本における2回の会議、JICAの情報提供およびJICA ヴィエトナム事務所、ヴィエトナム保健省、ヴィエトナム計画投資省、日本大使館の訪問により、以下のような本プロジェクトの特徴と概要をよく把握することができた。

- ①JICA とゲアン省との契約であること。これは、保健省および計画投資省でも強調された。
- ②JOICFP との連携事業であること。
- ③技術協力の3本柱である、要員の教育・訓練、専門家派遣、機材の供与がバランスよく行われていること。

ただし、調査対象についての統計資料を前もって用意することが望ましい。

(2) 現地での印象

- ①ゲアン省側は、本プロジェクトの進行に必要な経費を負担しており、本プロジェクトの進行に熱意があることを示している。
- ②特筆すべきは、石井リーダーが管理・運営、現地人との密接な人間関係づくりを効果的に進めているだけでなく、プロジェクト開始の遅れを精力的な活動（特にすべての対象県におけるトレーニング、オリエンテーション・ワークショップを半年間で終了した）でカバーした。これらは本プロジェクトの進行を加速している。
- ③省病院、中級医療学校、各郡、各コミューンの責任者が本プロジェクトに非常に協力的である。
- ④それぞれの建物、医療器材は、30年以上前の日本を思い出させる。これに効果的な援助を行うとき、日本の現在の医療水準に基づく機材の選択は、稼働および維持に無理があり、医療効果をあげにくい。この点をよく考慮して選択に当たるべきであろう。
- ⑤清潔な水の確保、交通網の整備など、住民のプライマリーケアに必要な基盤の整備を同時に図っていく必要がある。
- ⑥リプロダクティブヘルスについては、行政の中核にある人でもいまだ理解が不十分である。特に、女性の福祉、エンパワーメントについては、地道な教育、広報

の努力が必要であろう。

- ⑦日本が多く援助を行っていることについて一般に認知されていない面も見受けられるので、今後、よりいっそう広報に力を入れる必要がある。
- ⑧PDMの作成については産科に詳しい医師等の参加があれば、指標等の決定により具体的なサジェスチョンができたのではないかとと思われる。
- ⑨相手国の責任者は専門家として高い学識が認められる者もあり、その意見を尊重し、PDMの作成、プロジェクトの実行を行うべきである。

7. 合同委員会の協議結果（附属資料③）

(1) 日時：7月17日（金）8時～12時

参加者：

ベトナム側

ファム・ウン保健局局长

ボ・テユイ・フォン MCH/FP センター所長

ドー・ティ・ムイ MCH/FP センター副所長

チャン・クワン・フォン 計画課長

グエン・フォン・テユイ、プログラム・アシスタント

ドゥオン・ヴァン・ラム、プログラム・アシスタント

日本側

専門家チーム

石井澄江チームリーダー

勝部まゆみチームリーダー（1998年8月より着任）

岩柳信也長期派遣専門家

渡辺一代長期派遣専門家

計画打合せ調査団メンバー

(2) 議事

センター所長の挨拶に続いて、調査団長が挨拶した。

その後、センター所長よりプロジェクト活動状況につき説明がなされた。

プロジェクト専門家から提出された、短期専門家の報告に基づいた PDM 指標の変更案について、調査団長を中心に技術的視点から検討を加え、下記のとおり合意した。

1) プロジェクトの活動状況

本プロジェクトは 1997 年 6 月の協力開始後、1997 年度はベトナム側では MCH/FP センターのプロジェクト事務所、研修室の増築およびゲアン省からの予算確保が行われ、1998 年度は実験室を建設中である。

カウンターパートおよび薬品についてもベトナム側が責任をもって確保している。

日本側は、長期専門家 3 名（リーダー、調整員、助産婦）、短期専門家 6 名派遣、機材供与（MCH/FP センター/DHC/CHC）、2 名の研修員受入れ、中堅技術者研修（50 名/244 名）、PCM 研修（29 名）、オリエンテーション（732 名）、タイとの技術交換

(4名)、IEC ワークショップ (1,953名) を実施した。

2) PDM 指標の変更

上位目標とプロジェクト目標に同じ指標があったので違いを明確にし、また上位目標の指標について評価が明確にできないものがあったので、明確になるよう以下のように変更した。

上位目標の指標

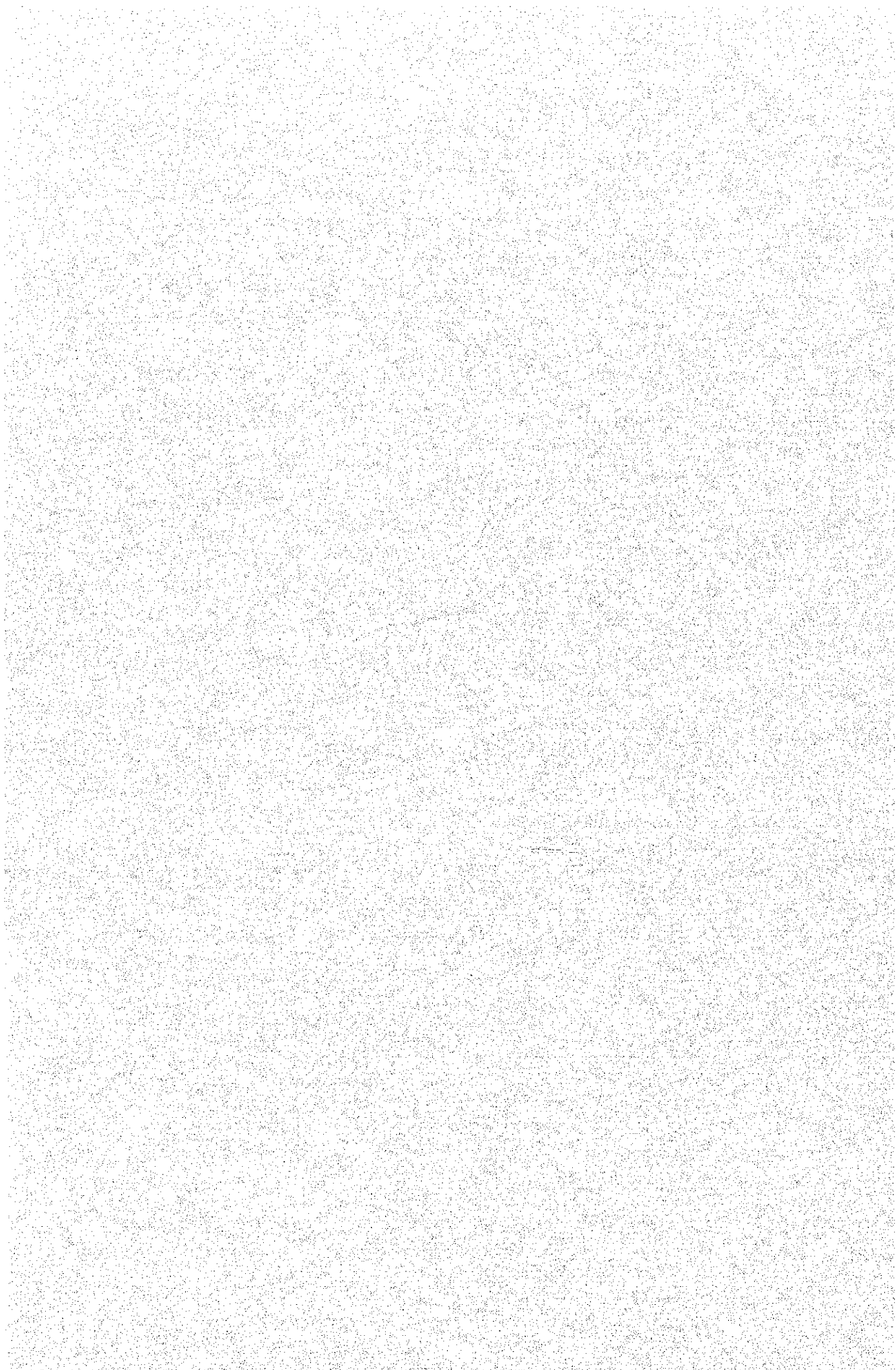
- ①西暦 2000 年までに 1995 年時点で出生 10 万対 165 であった妊産婦死亡率を 155 まで下げる。
- ②西暦 2000 年まで毎年 1% ずつ低体重児出生率を下げる。

プロジェクト目標の指標

- ①プロジェクト地域内で終了時までには妊婦の平均検診受診回数が 3 回以上となる。
- ②地域内で妊婦検診を受ける妊婦が 95% に増加する。
- ③CHC での施設分娩率が 85% に増加する。
- ④婦人科検診率が 2000 年まで毎年 2.5% ずつ増加する。
- ⑤地域内で出産数が毎年 2% ずつ減少する。
- ⑥地域内で破傷風予防接種を受ける妊婦の数が年間 2% ずつ増加する。
- ⑦地域内で MR を含む中絶件数が 2000 年まで年間 6% ずつ減少する。
- ⑧地域内で近代的避妊法実行率が年間 3% ずつ増加する。

附 属 资 料

- ① 活動報告（概要）
- ② 平成 10 年度活動計画
- ③ “Minutes of Discussions”
- ④ 「総合報告書」石井（山口）澄江
- ⑤ 長屋祥子短期専門家報告（母子保健行政分野）



① 活動報告 (概要)

活動報告(概要)

(1997年10月23日 - 1998年6月10日)

(1)活動の進捗状況

日・越技術協力協定の交渉の影響により、日本人専門家が当初予定されていたプロジェクトの開始時期(1997年6月)からほぼ5ヶ月近く遅れ、1997年10月23日に派遣された。そのため、1997年11月から、プロジェクトの立ち上げ、プロジェクトオフィスの環境整備、専門家の住居の整備など、全て同時進行せざるを得ない状況となった。

にもかかわらず、カウンターパートの熱意があったこと、またプロジェクト開始以前の準備状況が整っていた(短期専門家候補者との勉強会等)こともあり、プロジェクト活動は比較的順調に進捗し、1998年5月中旬までには、平成9年度計画にあった活動のほぼすべてを終了した。(詳細は4半期報告参照)

(2)成果の達成状況

1. 基礎調査、ニーズ調査など、プロジェクトのモニタリング、評価等に必要
な調査はほぼ終了した。また、プロジェクト地域すべての郡を対象に実施した
PCM ワークショップによって、R/D に添付された PDM がすべての郡のニ
ーズを反映していることを確認した。

2. 中堅、啓蒙普及等の予算によりゲアン省プロジェクト地区の延べ 1,981 人
に対する 2 日から7日間の研修を延べ42回実施し、JICA 及びその事業の説
明、プロジェクトの背景と目的、そして活動などについてのオリエンテーシ
ョンを行った。また、同時に村(コミュニオン)における安全で清潔なお産を目指し、
住民教育用広報活動についての研修も実施した。参加者は省、郡、村(コミュニ
オン)レベルのプロジェクトの運営委員会メンバーと女性連合メンバーが中心とな
っている。(プロジェクトの組織図参照)

この研修を通じて省レベルから村レベルまで全ての関係者及び住民組織の、プ
ロジェクトに対するコミットメントを強化するとともに、参加型手法を取りいれ
ることにより、プロジェクトに対するオーナーシップの強化を図った。

3. また、プロジェクト推進の核になる母子保健・家族計画センターに対する

能力強化・向上はタイへの技術交換、日本でのカウンターパート研修、日本人専門家(長期・短期)の技術協力を通じて実施した。センターの所長の談話によれば、プロジェクトが開始されて以来、スタッフの指示待ちが減り、自ら仕事をこなす自分の意見を言うようになったとのこと。(共同通信配信記事参照)

4. 中堅技術者養成事業の柱であるCHC(コミュン保健センター)の助産婦、補助医師再教育プログラムについては、プロジェクト期間中で10コース244人を対象に実施する予定で、平成9年度予算では2コース50人の再教育を終了した。現在このJICAの再教育プログラムは、ドナー間でも注目を浴び、既にユニセフや国連人口基金などの担当者が視察に訪問、資料や情報の提供を行っている。

5. プロジェクト地区はハノイから300キロ離れていること及び車または列車でのみ移動が可能な状況ではあるが、1998年の3月頃からはプロジェクトの立ち上げも一段落し、本格的な活動に入ったため、ドナーミーティングへも出席することが可能になった。UNFPA主催でベトナム政府側も参加するRHミーティング及びUNICEFが中心となっているSafe Motherhoodの二つのミーティングに可能な限り、参加している。5月のRHミーティングにおいてはJICAプロジェクトで実施しているCHCスタッフの再教育プログラムについて発表を行った。

また、国連、二国間協力機関との情報・経験交流を積極的に実施している。

6. 広報関係ではベトナム国内広報と日本の国内広報があるが、プロジェクトの立ち上げ時に実施したワークショップ(福原医療協力部長の出席を得て実施)がベトナムテレビで放映されたのをはじめ、ゲアンのローカルテレビでは比較的良くプロジェクト活動が放映されている。印刷物ではゲアン報(新聞)やゲアン省保健局が制作している月刊誌等に多く紹介された。

日本国内においては広報課に協力し、プロジェクト開始前のインタビュー(東京新聞)、NHKの国際放送(ラジオ)、雑誌「エキスパート」の取材、共同通信の取材受け入れなどを実施した。(詳細は記事を参照)

7. 機材供与では、ベトナム側の要望により、既に3年分の機材リストが作成され、平成9年度は母子保健・家族計画センターに対する教育、モニタリング、医療機材、各郡に対しては教育、モニタリング機材、村の保健センターに対しては244のうち66のセンターに対して医療機材を供与する。

8. 日本大使館に対し、平成 10 年度計画として CHC の施設改善のための資材料を購入する草の根無償の申請を行ったところ、非公式ではあるが認可された旨担当者より連絡うけた。

(3) 問題点・課題

1. カウンターパートのマンパワー不足。(平成 9 年度 4・4 半期報告参照)
2. R/D 添付の PDM にある上位目標「ゲアン省プロジェクト地域の女性の健康が向上する」に対する指標「プロジェクト地域の女性の貧血有病率が全国値まで低下する」の変更の可能性
(兵井 MIS 専門家の助言による)

平成9年度 協力部門別活動報告

1. トレーニング・ワークショップ (中堅・啓蒙・技術交換)

活動	時期	場所	参加者	実施者	JICA 側支出
オリエンテーションワークショップ	1997年12月6日	MCH/FP センター	合同委員会、省・郡運営委員会メンバー (75人)	省運営委員会/JICA	
タイ国技術交換	1998年1月4日 - 11日	タイ国コーン・ケーン県	CHC スタッフ再教育セミナーメンバー (4人)	JICA	
CHC スタッフ再教育 (第一回)	1998年3月2日 - 28日	MCH/FP センター他	4郡のCHC スタッフ (24人)	MCH/FP センター/ JICA	
CHC スタッフ再教育 (第二回)	1998年4月2日 - 28日	MCH/FP センター他	4郡のCHC スタッフ (26人)	MCH/FP センター/JICA/短期専門家	(中堅技術者養成)
PCM ワークショップ	1998年3月8日 - 14日	フーンギホテル	省・郡運営委員会メンバー (29人)	MCH/FP センター/JICA/短期専門家	CHC スタッフ再教育 2 コース 50人
オリエンテーションワークショップ	1998年4月13日 - 15日	Do Luong 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (96人)	郡運営委員会/MCH/FP センター/JICA	PCM ワークショップ 1 コース 29人
オリエンテーションワークショップ	1998年4月23日 - 25日	Thanh Chuong 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (111人)		オリエンテーションワークショップ 8 コース 732人
オリエンテーションワークショップ	1998年4月24日 - 26日	Yen Thanh 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (102人)		
オリエンテーションワークショップ	1998年4月27日 - 29日	Dien Chau 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (117人)		
オリエンテーションワークショップ	1998年4月28日 - 30日	Nghia Dan 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (96人)		
オリエンテーションワークショップ	1998年5月6日 - 9日	Con Cuong 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (39人)		

オリエンテーション ワークショップ	1998年5月7 -10日	Nghi Loc 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (99人)	郡運営委員会/MCH/FP センター/JICA	(中堅技術者養成)
オリエンテーション ワークショップ	1998年5月7 -10日	Nam Dan 郡	コミュニティ運営委員会メンバー (3人/コミュニティ) (72人)	MCH/FP センター、JICA 短 期専門家	(啓蒙普及) IEC ワークショップ 31 コース 1953 人 (クイズも含む)
POM ワークショップ	1998年3月 17-19, 21-23	Dien Thanh コミュニ、 Dien Chau 郡	コミュニティの住民 (男 20 人、 女 20 人) (計 40 人)	郡運営委員会/MCH/FP センター/JICA	
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年4月17 日 - (4コース) 2日/コース	Do Luong 郡	コミュニティ女性連合/運営委員 会メンバー(女性連合/5人 運営委員会/3人/コミュニティ) (256人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月2 日 - (4コース)	Dien Chau 郡	同上 (312人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月4 日 - (5コース)	Yen Thanh 郡	同上 (272人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月5 日 - (4コース)	Nghia Dan 郡	同上 (256人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月10 日 - (3コース)	Nam Dan 郡	同上 (192人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月13 日 - (5コース)	Thanh Chuong 郡	同上 (296人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月12 日 - (4コース)	Nghi Loc 郡	同上 (264人)		
IEC ワークショップ (広報教育)	1998年5月11 日 - (2コース)	Con Cuong 郡	同上 (104人)		

II. 機材供与

- II -1 MCH/FP センター用機材:
- II -2 郡保健センター用機材: (8)
- II -3 OHC 用機材: (66)

詳細については、添付資料参照のこと

III. 専門家派遣

III-1. 長期専門家

氏名	派遣期間	派遣分野
1. 石井(山口)澄江	1997年10月23日 - 1998年7月31日	チーフアドバイザー
2. 勝部まゆみ	1998年6月15日 - 1999年6月14日	チーフアドバイザー
3. 岩柳 信也	1997年10月23日 - 1999年5月31日	調整員
4. 渡邊一代	1997年11月5日 - 1999年11月4日	専門家(助産婦教育)

III-2. 短期専門家

氏名	派遣期間	派遣分野	成果
1. 大野明子	1997年11月21-30	産婦人科	MCH/FP センター用供与機材の選定及びセンターの分娩管理技術レベルの評価(報告書参照)

2. 阿部貴美子	1997年11月16日 - 1998年1月10日	リプロダクティブヘルス調査	リアリティ・ヘルスに関する基礎調査(国、省レベル)の完了(報告書参照)
3. 帖佐理子	1997年12月12日 - 1998年1月31日	病院、クリニック運営管理	MCH/FP セクターの運営管理分野の二一ス調査終了(報告書参照)
4. 吉野篤	1998年2月22日 - 3月14日	広報教育(視聴覚教材の制作)	260点にわたるプロジェクト活動及び農村の女性の生活を紹介する教材用写真の入手
5. 富士恵里香	1998年3月7日 - 27日	PCM セクター	PCM 手法を通じて郡の運営委員会メンバーに、プロジェクト運営管理の研修を実施(報告書参照)
6. 兵井伸行	1998年4月5日 - 23日	統計情報システム	リアリティ・ヘルスの関連の統計情報システムに関する調査を実施(報告書参照)

IV. カウンターパート研修

氏名		期間	研修成果
1. Dr. (Ms.) Tran Thi Thien	1998年3月16日 - 4月14日	1998年3月16日 - 4月14日	国、県、市町村レベルにわたる日本の母子保健行政、助産婦教育、病院の管理運営、NGOの活動など、日本におけるリアリティ・ヘルスの現状、取り組みを、講義、施設訪問などを通じて学ぶことにより、日本のRH分野の専門性、技術に対する理解と認識を深めた
2. Dr. (Mr.) Vo Thuy Phuong			

Equipment List ' 97

No	Item	Description	Q'ty	Remark
1	Oxygen Head Box	酸素吸入器 Atom OX-930	1	MCH/FP Center
2	Hematology Analyzer	血液分析器 Nihon Kohden MEK-5204K	1	MCH/FP Center
3	Infant warmer	新生児保温器 Nakamura NIW-2000R	1	MCH/FP Center
4	Fetal Doppler	胎児用ドプラ ATom DP-20FHR	1	MCH/FP Center
5	Ultrasound	超音波 Aloka SSD-1100 Probe UST-934N-3.5 Printer P90E	1	MCH/FP Center
6	Intubation set	挿管セット Blue Cross ET-A-DX for Adults	2	MCH/FP Center
7	Intubation set	挿管セット Blue Cross ET-A-DX for Adults and Children	2	MCH/FP Center
8	Intubation set	挿管セット Oxygen regulator	2	MCH/FP Center
9	Intubation set	挿管セット Silicon Tubes, etc.		MCH/FP Center
10	Television	テレビ Sony F25MF1D	2	MCH/FP Center
11	Video	ビデオ Sony SHV 865	2	MCH/FP Center
12	Slide Projector	スライド映写機 ELMO 253AF	1	MCH/FP Center
13	Microscope	顕微鏡 ERMA EZ-232	1	MCH/FP Center
14	Overhead Projector	オーバーヘッド プロジェクター ELMO 285S	10	MCH/FP Center 2 District 8
15	Screen	スクリーン Da-Lite 1.5x1.5m	10	MCH/FP Center 2 District 8
16	TOA Wireless Microphone System	ワイヤレス マイク システム WA 620C Amplifier WM 260 Microphone WTU 761 Tuner Module	10	MCH/FP Center 2 District 8
17	Computer	コンピューター Fujitsu PC Deskpower 3000 series Pentium 200 Mhz	2	MCH/FP Center
18	Monitor	モニター Fujitsu-Monitor 14	2	MCH/FP Center
19	UPS	UPS 1000 VA	2	MCH/FP Center
20	Stabilizer	安定器 LiOA 1.5 KW	2	MCH/FP Center
21	Printer	プリンター HP 6L	2	MCH/FP Center
22	Photocopier	コピー機 Ricoh VT 1730	1	MCH/FP Center
23	Air-condition	エアコン National - A90 KC	3	MCH/FP Center
24	Refrigerator	冷蔵庫 Toshiba 15 EPP	2	MCH/FP Center
25	Dehumidifier	除湿機 National CD - SD902H	2	MCH/FP Center
26	CHC Equipment	CHC用機材 74 Items	66	66 Communes
27	Motorcycle	オートバイ Super DREAM C100	8	8 Districts

コミュニティ保健センター用機材リスト

(購入リスト)

Item	仕様	数量	Remarks
1. Steriliser	Pressure 18 lit. by coal/wood	1	高圧滅菌釜
2. Drum, Sterilising, Cylindrical	240 mm dia.	2	消毒用ドラム(内筒)カスト
3. Disinfecter instr.	Boiling type	1	消毒器材入れ
4. Forceps steriliser (Utility)	200 mm Vaughn CRM	2	消毒用鉗子
5. Basin solution deep	Approx. 6 liters	1	手洗いベーション
6. Pail waste with cover	12 lit. SS	4	蓋つきゴミ入れ
7. Instrument disinfecter	Boiling type / Fuel	1	消毒用器材
8. Path strip urinary protein		300	尿蛋白試験紙
9. Stethoscope	Binaural complete	2	聴診器
10. Thermometer	Clinical, Oral	5	体温計
11. Sphygmomanometer	Aneroid 300 mm/Hg with cuff	1	血圧計
12. Scale for physician	For adult, metric, 140kgsx100g	1	体重計
13. Tongue depressor	165 mm, metal	6	舌圧子
14. Instrument table on wheels		2	カート
15. Cabinet	For drugs and instruments	1	棚
16. Kidney basin	825 ml.	2	膿盆
17. Kidney basin	475 ml.	2	膿盆
18. instrument tray	shallow 480x330x19mm	2	トレー
19. instrument tray with cover	310x195x63 mm	2	蓋付きトレー
20. Bowl for sponge	600 ml., stainless steel	3	プリンカップ
21. Pot with cover and spigot	23 lit. Aluminium	2	滅菌入れポット

22.	Cup for solution	180 ml.		2	溶液入れカップ
23.	Hypodermic syringe	2 ml. luer, 5 ml. luer, 10 ml luer, 20 ml. luer		15	皮下用注射器
24.	Hypodermic needle	0.7x32mm/22gx 1.25 Leur		2	注射針(皮下用)
25.	Hypodermic needle	0.55x19mm/24gx 1.75 Leur		2	注射針(皮下用)
26.	Hypodermic needle	0.9x38mm/20gx 1.5 Leur		1	注射針(皮下用)
27.	Surgical scissors	Straight, 145 mm S/B, SS		4	外科用剪刀
28.	Surgical scissors	Straight, 145 mm B/B, SS		2	外科用剪刀
29.	Surgical scissors	Curved, 140 mm S/D, SS		3	外科用剪刀
30.	Dissect scissors	Curved, 145 mm B/B		3	解剖剪刀
31.	Bandage scissors	Angular, lister 180 mm SS		3	雑剪刀
32.	Flashlight	Pre-focused, 2 cell right, angle head		1	電灯
33.	Urinal for male	Upright model, 1.5 lit. SS		2	尿管(男性用)
34.	Bed-pan	Fracture Jones SS		3	便器
35.	Irrigator	1.5 lit. with tubing-clamp & STR connect		5	イリゲーター
36.	Stretcher	Folding type		1	ストレッチャー(折畳み式)
37.	Acupuncture needle			3	針治療用針
38.	Rubber bag	Combination of hot-water and ice 2 lit.		2	氷枕
39.	Stool	Revolving, height adjustable		2	椅子
40.	Filter for water	Aluminum with 4 sterile candles		1	浄水器
41.	Scissors, uterine	Sims 200 mm SS curved		1	子宮剪刀

42.	Measure	Graduated with handle 500 ml / 1 pint	3	ピッチャー
43.	Dissect scissors	Straight Mayo 170 mm B/B SS	2	解剖剪刀
44.	Needle holder	Straight, broad-jaw, Mayo HGR20	2	持針器
45.	Gynecological examination table		1	婦人科検診台
46.	Speculum	Vaginal, bi-valve graves, small	2	陰鏡
47.	Speculum	Vaginal, bi-valve graves, medium	2	
48.	Sponge forceps	Holding straight 200 mm SS	2	スポンジ鉗子
49.	Speculum	Vaginal, weighted auvard 38x75 mm	2	陰鏡
50.	Tray for instruments	Shallow 480x330x19 mm	2	器材トレー
51.	Uterine sound	Simpson 300 mm graduated in 20	1	子宮ゾンデ
52.	Suture needle	3/8 circle cutting assorted	18	縫合針
53.	Gloves for surgeon	Latex, size 6 1/2 (pair)	15	手袋
54.	Gloves for surgeon	Latex, size 7 (pair)	15	手袋
55.	Forceps for IUD removal	Alligator jaw type, 8	2	IUD 抜去鉗子
56.	Uterine Forceps	Tenaculum 280 mm	2	子宮鉗子
57.	Uterine dilator	Double-ended Pratt SS	1	子宮拡張器
58.	Kaman syringe	Single valve	1	MR 用シリンジ
59.	Baby bath	Oval, 25 lit, polyethylene	1	沐浴槽
60.	Cuff spare for	Child size	2	血圧計のカフ(小児用)

	sphygmomanometer				
61.	Rectal syringe	infant rubber bulb hard tip 30ml	1		小児用洗腸器
62.	Dropper for medicine	Straight tip ungraduated	1		薬杯
63.	Aspirator	Nasal infant size 30 ml	1		吸引器(ベビー用)
64.	Forceps	Hemostat straight (Kocher Ochsner) 180 mm	2		止血鉗子
65.	Labour & Delivery bed	Vietnam SS	1		分娩台
66.	Suture cotton	White non sterile 00 USP 91 m			綿糸
67.	Tape Measure	1.5/60 Vinyl coated fiberglass	1		計測用メジャー
68.	Pelvimeter	Collyer external grad Cms/Inches	1		骨盤計
69.	Stethoscope	Fetal pinard monaural	1		聴診器(乳児用)
70.	Pump breast	Hand rubber glass/ plastic bell	1		搾乳器
71.	Scissors episiotomy	Angular Braun 145 mm SS	2		会陰切開剪刀
72.	Needle suture, uterine	Martin 1/2 circle	2		縫合針(子宮用)
73.	Catgut suture	Size 2	4		カッタット縫合糸
74.	Infant scale	Clinic, metric, 15.5 Kg x 5g	1		乳児用体重計

短期専門家

活動報告書(要約)

(1997年10月 - 1998年5月)

短期専門家活動報告

1997年12月9日

1. 氏名 Name:	大野明子 (Ms./MD.) Dr./Ms. Akiko Ohono
2. 派遣期間 Period:	1997年11月21日～1997年11月30日 November 21 - 30, 1997
3. 派遣分野 Specialised area:	産婦人科 Obstetrics and Gynecology
4. 派遣目的 Purpose of visit	<p>1. MCH/FP センター 供与機材の選択と確認 To finalise the items of medical equipment to be supplied to the MCH/FP Centre</p> <p>2. MCH/FP センターの産科の技術レベルの診断と今後の当分野における必要な技術協力内容についての勧告 To identify the technical level on OBGYN service available at MCH/FP Centre and to make recommendations on the areas of technical cooperation on OBGYN</p>
5. 活動内容 Activities	<p>1. 視察：MCH/FP センター、省病院、中級医療学校、Nghi Loc 郡病院、Nghi Thiet CHC, Nam Dan 郡病院、Kim Lien CHC Site visit: MCH/FP Centre, Provincial Hospital, Secondary Medical School, Nghi Loc District Hospital, Nghi Thiet CHC, Nam Dan District Hospital, Kim Lien CHC</p> <p>2. 意見交換：Dr. Phoung, Dr. Nga, MCH/FP センター Discussion and exchange of opinion; with Dr. Phoung and Dr. Nga, MCH/FP Centre</p>
6. 報告 Result	報告書参照 Refer to the report
7. 成果 Achievement	<p>1. MCH/FP センター 供与機材リストの確認と順位付けの完了 Finalisation of medical equipment list to be supplied to MCH/FP Centre</p> <p>2. Quality of Care についての Dr. Phoung との意見交換 Exchange of ideas and opinions on quality of care</p>
8. フォローアップ Follow-up	報告書の一部の英訳 for MCH/FP センター Translation of the report into English
9. その他	

短期専門家活動報告

1. 氏名 Name	阿部貴美子(あべきみこ) Ms. Kimiko Abe
2. 派遣期間 Period	1997年11月16日-1998年1月10日 Nov. 16, 1997 - Jan. 10, 1998
3. 派遣分野 Specialised area	RH基礎調査 Base-line survey on Reproductive Health
4. 派遣目的 Purpose	ヴェトナムおよびゲアン省のRHに関する基礎調査 To conduct base-line survey on RH in Vietnam and Nghe An Province
5. 活動内容・方法 Activities Methodologies	インタビュー、施設・機関訪問、資料読み込み through interview, visit facilities and organisations reference materials
6. 報告 Report	RH調査実施、特に政策及び実施面での調査(国レベルとゲアン省) Base-line survey on RH with special focus on policy and implementation (National and Provincial level)
7. 成果 Achievement	報告書別添え Report
8. フォローアップ Follow-up	報告書の英語訳 カウンターパートに対する調査内容のフィードバック
9. その他 Others	

短期専門家活動報告

1. 氏名 Name	帖佐理子(ちょうさ みちこ) Dr. (Ms.) Michiko Chosa
2. 派遣期間 Period	1997年12月12日-1998年1月31日 Dec. 12, 1997 - Jan. 31, 1998
3. 派遣分野 Specialised area	病院管理 Management of hospital and clinic
4. 派遣目的 Purpose	1) MCH/FPセンターの管理能力強化 To strengthen management capacity of MCH/FP Centre 2) C/P日本研修のプログラム作成 To advise and prepare, if necessary a draft itinerary for the C/P training in Japan
5. 活動内容・方法 Activities Methodologies	インタビュー、施設・機関訪問、資料読み込み through interview, visit facilities and organisations reference materials
6. 報告 Report	報告書別添え Report submitted
7. 成果 Achievement	短期専門家がMCH/FPセンターの機能、能力の現状についての理解を深めた A Short-term expert could deepen understanding of the function and present capacity of MCH/FP Centre 問題点の分析とその結果をカウンターパートの日本研修に活かすべく日本でのプログラムを編成出来た A draft of training programme in Japan for the Vietnamese counterparts, which reflected the result of observation and findings of the short-term expert was prepared
8. フォローアップ Follow-up	報告書の英語訳 Translation of the report カウンターパートに対する調査内容のフィードバック
9. その他 Others	1月31日帰国予定がパスポートの盗難にあったため、延期、2月6日に帰国

短期専門家活動報告

1. 氏名 Name	吉野篤 Mr. Atsushi Yoshino
2. 派遣期間 Period	1998年2月22日～3月14日 Feb. 22 - Mar. 14, 1998
3. 派遣分野 Specialised area	広報教育(視聴覚教材制作) IEC (Development of audio-visual materials)
4. 派遣目的 Purposes	広報及び教育用写真制作、プロジェクト記録ビデオ制作用撮影 Photo taking for advocacy and publicity Video taking for the record of the project
5. 活動内容 Activities	プロジェクト地区を訪問し広報用写真、プロジェクトの記録用ビデオを撮影した。 Places visited: Dien Trung commune, Dien Chau dis., Yen Khe commune, Con Cuong dis, Xuan Lam commune, Namdan dis. and Vinh city and others
6. 報告	
7. 成果 Achievement	プロジェクト推進及び広報用の200点以上にわたる高品質の写真 More than 200 of high quality of photographs will be made available for the project promotion and publicity プロジェクトの記録(ビデオ) Recording of project progress
8. フォローアップ Follow-up	次回の訪問時期の決定 Have to decide the next visit as soon as possible
9. その他 Others	

短期専門家活動報告

1. 氏名 Name	富士恵里香 Ms. Erika Fukushi
2. 派遣期間 Period	1998年3月7日～27日 March 7 - March 27, 1998
3. 派遣分野 Specialised area	PCMモデレーター PCM Moderator
4. 派遣目的 Purpose	<ol style="list-style-type: none"> 1. PCM手法を通じてのマネージメント研修 To provide training on management through PCM methodology 2. PCM手法を通じての8郡全てのRHニーズ調査 To conduct reproductive health needs assessment of all 8 districts through PCM methodology 3. PCM手法を通じての村の最終受益者のニーズ調査 To assess RH needs of beneficiaries of commune through PCM methodology 4. C/P及びローカルスタッフのモデレーター養成 To train the counterpart of the project and local staff as moderator
5. 活動内容 Activities	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8郡のSCメンバーに対するPCMワークショップの開催 (対象：4人/郡、PC, WU, DHC and mobile team に対し5日間) To organise PCM workshop for SC members of 8 districts (Participants: 4per/dis., PC, WU, DHC and mobile team for 5 days period) 2. Dien Thanh コミューンでのPCMワークショップの開催 (対象：20人の男性、20人の女性に対して各3日間) To organise PCM workshop for 40 villagers of Dien Thanh commune, Dien Chau dis. (Participants: young 20 male and 20 female respectively for 3 days each)
6. 報告 Report	報告書参照 Refer to the report
7. 成果 Result/ Achievement	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8郡を対象にしたPCMワークショップにより、R/Dに添付されたPDMの修正が必要ないことを確認した。 It was confirmed that the PDM attached R/D is not necessary to

	<p>be revised. (when the PDM prepared, only three districts, namely Nghi Loc, Namdan and Yen Thanh participated)</p> <p>2. 8郡のプロジェクト運営委員会メンバーに対するPCM手法を通じてのマネジメントの研修を行ない、各郡のメンバーがコミューンの運営委員会のメンバーに対するワークショップの開催の実施計画書を作成した。また、女性連合はIECワークショップの実施計画書を作成した。</p> <p>All district S-C members were trained on management through PCM methodology. As a result of the PCM workshop, draft plans of operation for workshops to be held at each district for all S-C members of commune and IEC workshops for selected WU members of all communes were made.</p> <p>3. Dien Thanh Communeにおいて、それぞれ20人の女性と男性のRHニーズ調査をPCM手法を通して実施した結果、郡レベルで作成したPDMに近いものができ、結果的には村レベルのニーズにもこたえられるものが、R/Dに添付されているということができた。</p> <p>RH needs assessment was conducted at commune level. It was found out that the PDM attached to the R/D was comprehensive enough to meet the needs at grass root level at this moment.</p> <p>4. 当初の目的にはなかったが、カウンターパート及び、ローカルスタッフのモデレーター養成を実施できた。今後の活動に大きな力になることと期待される。</p> <p>The counterpart and local staff of the RH Project were able to receive on the job training for moderator. It is expected they will be able to play a leading role on diffusion of PCM methodology in the project areas.</p>
8. フォローアップ Follow-up	PCM手法を使ったトレーニングの活用 Effective utilisation of PCM methodology for training
9. その他 Others	

短期専門家活動報告

1. 氏名 Name	兵井伸行 Dr. (Mr.) Nobuyuki Hyoi
2. 派遣期間 Period	1998年4月5日～4月23日 April 5-23, 1998
3. 派遣分野 Specialised area	統計情報処理システム Management of Information System
4. 派遣目的 Purposes	<p>1. 現在実施されている MIS についての理解を深める To comprehend the current situation of Reproductive Health MIS as well as the policy/plan outlined by the Ministry of health and other related organizations</p> <p>2. 現在使用されている報告、登録フォーマット及び情報の流れ、リプロヘルス MIS の主たるインディケータについて検証する To examine R/R formats, the route of information flow and key indicators for Reproductive Health MIS</p> <p>3. 上記調査の結果に基づき、プロジェクト地区の MIS 向上のための方向性を示す To outline the direction for the improvement of MIS in project area based on the survey findings and a meeting</p>
5. 活動内容 Activities	<p>インタビュー(ハノイ、ゲアン省、Nghi Loc dis., Nghia Dan dis.) 会議出席、視察 Interview (Hanoi, Nghe An Province, Nghi Loc dis., Nghia Dan dis), attend meetings and site visit</p>
6. 報告 Report	<p>報告書参照 Refer to the report</p>
7. 成果 Achievement/ Results	<p>1. RH に関する MIS の状況把握ができた(統一がされていない、混乱を極めている) The present situation of MIS on reproductive health was analysed and found out that there is no unity of MIS</p> <p>2. 現状をもとにプロジェクトに最も適した MIS というより、現状の中で可能なデータを使用してプロジェクトのモニタリング、評価を実施するという方向が打ち出せた。 Based on the findings, the recommendation was made available that no additional nor new request should be made to the present</p>

	<p>MIS in relation with the JICA RH project</p> <p>3. 既存のデータでPDMに記載された主なインディケータのデータが入手可能なことが確認された。</p> <p>It was confirmed that key indicators mentioned in PDM are obtainable from the currently available data</p> <p>4. ゲアン省の統計担当者に対するMISトレーニングのニーズと必要性が専門家によって指摘された</p> <p>The unmet needs for demographic training for Nghe An staff was pointed out. The recommendation made by Dr. Hyoui that sort-term training should be conducted for those staff in charge of statistics</p>
8. フォローアップ	<p>1. C/P に対する報告書のフィードバック</p> <p>Share the report to be made by STE with counter parts</p> <p>2. 平成10年度の専門家による統計情報処理に関するトレーニングワークショップ開催の可能性についての検討</p> <p>To examine a possibility to organise a training workshop on MIS for staff of Nghe An having a STE to be despatched this financial year</p>
9. その他	

平成 10 年度活動計画

1998 年 6 月 1 日現在

活動	時期・期間	場所	実施責任者・機関	JICA 予算
1. CHC スタッフ再教育	5 コース (1 ヶ月 / コース) 25 人 / コース	MCH/FP センター他	MCH/FP センター・ JICA (マネージメント)	中堅技術者養成 ¥5,000,000
	- 1998/9/7 - 1998/10/3			
	- 1998/10/12 - 1998/11/7			
	- 1998/11/16 - 1998/12/12			
	- 1999/1/4 - 1999/1/30			
	- 1999/3			
2. 郡保健センター巡回指導 員研修	2 コース (10 日 / コース) 5 人 x 8 郡 = 40 人 20 人 / コース	MCH/FP センター他	MCH/FP センター・ JICA (マネージメント)	
	- 1998/10/5 - 1998/10/12			
	- 1998/11/9 - 1998/11/16			
3. コミュニスタツア研修	未定	各郡レベル	郡運営委員会, MCH/FP センター, JICA	啓蒙普及活動 ¥4,000,000
4. 機材供与	1998 年 6 月 - 1999 年 3 月	MCH/FP センター, CHC	JICA, MCH/FP センター	¥30,000,000?
5. 日本人短期専門家派遣	1998 年 6 月 - 1999 年 3 月	ハノイ, ゲアアン省	JICA, MCH/FP センター, 郡・村レベル運営委員会	延べ 9 分野 12 ヶ月
6. カンクハート研修 (日本)	1998 年 10 月以降? (ゲアアン省 2 人, 保健省 1 人)	日本	JICA 東京, 九州国際センター	
7. JICA 調査団派遣	1998 年 7 月 12 日 - 19 日	ハノイ, ゲアアン省	JICA, 合同委員会, 省運営委員会	
8. CHC 改善用資材供与及び改善	1998 年 7 月 - 9 月	CHC	JICA, MCH/FP センター, 郡保健センター	草の根無償 US\$85,000

9. 草の根無償調印式	1998年7月 (可能であれば JICA 調査団 訪問時)	ゲアン省	日本大使館・ゲアン省人 民委員会	
10. NGO 活動調査	1998年8月 - 1999年3月	ハノイ、ゲアン省	JOICFP, JICA, MCH/FP センター	JOICFP

平成10年度(98年度)プロジェクト計画・実績管理表

プロジェクト名: 베트남国リハビリテーションヘルス
 1997年5月1日 - 2000年5月31日

プロジェクトID: 02100400
 R02番号: 910405
 区画コード: 100000
 区画名称: 人口調査
 期分コード: 100000
 期分名称: 人口調査
 開始年度: 1997
 終了年度: 2000

月	年度												合計					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月						
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		
41																		
42																		
43																		
44																		
45																		
46																		
47																		
48																		
49																		
50																		
51																		
52																		
53																		
54																		
55																		
56																		
57																		
58																		
59																		
60																		
61																		
62																		
63																		
64																		
65																		
66																		
67																		
68																		
69																		
70																		
71																		
72																		
73																		
74																		
75																		
76																		
77																		
78																		
79																		
80																		
81																		
82																		
83																		
84																		
85																		
86																		
87																		
88																		
89																		
90																		
91																		
92																		
93																		
94																		
95																		
96																		
97																		
98																		
99																		
100																		

Schedule: August 1998 ~ April 1999

As of end August 1998

Activities	1998		1999						
	August	September	October	November	December	January	February	March	April
1. Meetings							May/16 Tet		
2. Monitoring									
Regular Meeting	8/25								
Seminar for Mobile I. (Evaluation)(緊急支援)									4/26-28
3. Training									
CHC Staff Training (中堅)		9/7	10/3 10/12	11/7 11/16	12/12	1/4 1/31		3/22	4/17
District Mobile Team (中堅)			10/5 10/12	11/9 11/16					
Travelling Seminar (緊急支援)								3/1 3/10	
IEC workshop (啓蒙普及)		9/9	9/23			1/10*			
MIS Workshop (緊急支援)						1/11-12			
C/P Training									
4. Short-term Experts									
Dr. Akira Okamoto Community-based		9/6	9/26						
Dr. Michiko Chosa Management clinic					12/3	12/21			
Dr. Yasuko Aoki Midwife Education									to be confirmed
Dr. Shoko Nagaya MCH/FP Admin.									
Mr. Nobuhiro Kadoi Follow up survey									
Obgyn doctor									
IEC									
MIS									
Project manag.									
NGO survey JOICFP Ms. Keiko Hamano	8/9-19								

Activities	1998		1999						
	August	September	October	November	December	January	February	March	April
Equipment									
Medical Equipment (医療機材)									
Training Middle level Manpower (中堅)									
IEC Workshop (啓蒙普及)									
Emergency Fund (臨時・緊急支援)									
1999 Work Plan		↑		↑					
Multi-bi /UNFPA (人口特別)									
GAGRP (草の根無償) (Raw Material)		9/15 *							
UNFPA collaboration Ky Son District 草の根展開費 (Women's Union)				11 /16	12/12	1/4	1/31	3/22	4/17
Project News Letter	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Visitors									
Donors' Meeting	*	*	*	*	*				
Movement of JICA RH Office Staff									

③ “Minutes of Discussions”

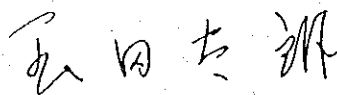
MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE REPRODUCTIVE HEALTH PROJECT IN NGHE AN PROVINCE

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA) and headed by Dr. Taro Tamada, Vice President, Japan Society of Adolescentology, visited the Socialist Republic of Viet Nam from July 12, 1998 to July 19, 1998 for the purpose of reviewing the progress and discussing the future activities of the Reproductive Health Project in Nghe An Province (hereinafter referred to as “the Project”) in the Socialist Republic of Viet Nam.

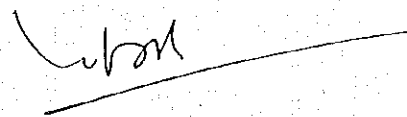
During its stay in the Socialist Republic of Viet Nam, the Team exchanged views and had a series of discussions with respect to the present issues and future project activities to be carried out by both Governments for further successful implementation of the above-mentioned the Project.

As a result of the discussion, both sides agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Vinh City, July 17, 1998



Mr. Taro Tamada, M.D.
Leader
JICA Consultation Team
Vice President
Japan Society of Adolescentology



Mrs. Nguyen Thi Han
Vice Chairperson
People's Committee of Nghe An Province
The Socialist Republic of Viet Nam

The Attached Document

1. Inputs and Achievements

The Team and the People's Committee of Nghe An Province confirmed the following inputs and achievements of the Project.

1.1 JICA inputs in 1997 Japanese Fiscal Year

1.1.1 Dispatch of Japanese Experts

- A. Three long-term experts (Chief Advisor, Administrative co-ordinator, and Midwifery) were dispatched.
- B. Six short-term experts were dispatched in the field of 1) Obstetrics-gynecology, 2) reproductive health survey, 3) management of hospital and clinic, 4) information, education and communication (IEC), 5) Project Cycle Management (PCM), and 6) management of information system (MIS).

Annex 1 for the detail of the dispatched experts.

1.1.2 Supply of Equipment

The following equipment have been provided by the Japanese Government in order to support and facilitate the implementation of the Project:

- A. Equipment for MCH/FP Center
- B. Equipment for District Health Center (8)
- C. Equipment for Commune Health Center (66)

Annex 2 for the detail of the equipment.

1.1.3 Training of Vietnamese Personnel in Japan

Two counterparts received technical and management training for one month in the field of MCH/FP administration and hospital management in Japan at national, prefectural and community level.

Annex 3 for the detail of the training

1.1.4 Training of Middle-level Manpower

- A. Training of Commune Health Center (CHC) staff
Two one-month training courses were conducted for the staff of commune health centers (CHC). Out of 244 CHC health staff who are to be trained under this project, a total of 50 CHC staff members received training.
- B. Workshop on Project Cycle Management (PCM)
PCM workshop was conducted for the district steering committee members and a total of 29 people were trained.
- C. Orientation workshop
Eight orientation workshops were conducted for commune level steering committee members and a total of 732 people were trained.

Annex 4 for the detail of the training

1.1.5 Training and Workshops

- A. Technical Exchange Programme in Thailand
Four staff members of the MCH/FP Center received training through a technical exchange programme organized in Thailand. Two long-term Japanese experts accompanied the trainees.

Clear ZVD

B. IEC workshops at commune level

Thirty-one IEC workshops were conducted covering all the 244 communes in 8 districts. A total of 1,953 commune people who are members of Women's Union and the Commune Steering Committees participated in the workshop and trained in the effective IEC activities in the field.

Annex 4 for the detail of the training/workshop

1.2 Vietnamese inputs

1.2.1 Building

The People's Committee of Nghe An Province provided the Project with a project office, training room, and delivery room by constructing a new quarter attached to the MCH/FP Center. For the construction, MCH/FP Centre received 500 million VND from the People's Committee of Nghe An Province.

In addition to the above, the People's Committee of Nghe An Province has committed 600 million VND for the construction of laboratory, X-ray room and transformer station which are under construction at present. An amount of 300 million VND out of committed 600 million VND has been disbursed to the MCH/FP Centre.

1.2.2 Counterpart personnel

Project Director, Project Manager, Counterpart personnel in the field of reproductive health, and administrative personnel have been assigned and deployed.

1.2.3 Drug and contraceptives

Drug and contraceptives have been supplied in accordance with the government's plan.

1.3 Coordination with bi- and multi-lateral agencies

The project coordinated with the other bi- and multi-lateral agencies such as UNFPA, UNICEF, GTZ, and the World Bank. The dialogue with those agencies started during the preparatory stage of the Project in order to avoid the duplication of the assistance and to maximize the effectiveness of the project inputs by different parties. The cooperation and collaboration continued after the Project was launched through information and experience sharing and the exchange of the technical expertise. The further collaboration is envisaged as the Project is demonstrating its achievement.

2. Confirmation and review of R/D

Both sides agreed that the Project had been well organized and implemented in spite of the six months delay in dispatching the long-term experts thus the delayed implementation of project activities. It is notable that the most of the activities planned in 1997 Fiscal Year in the Record of Discussions (R/D) were implemented within six months from November 1997 to April 1998.

The JICA Consultation Team and the People's Committee have agreed that there is no need to modify the Master Plan in R/D.

3. Issues identified during Japanese Fiscal Year 1997

3.1 Delay in dispatching Japanese experts

Uay
Z-10

3.1.1 Long-term expert

It was planned to dispatch the long-term experts in June 1997 coinciding with the start of the project period. However, it was delayed for six months to the end of October 1997, due to the unavoidable circumstances. Therefore, the actual implementation of the Project started in November 1997 instead of June 1997.

3.1.2 Short-term expert

Eight of the short-term experts were planned to be dispatched to the Project. However, two experts for 1) MCH/FP administration and 2) midwifery education were not dispatched. This is due to the six-month delay of the start of the project activities.

3.2 Delay in provision of the equipment

The procedure of procurement of equipment has been delayed for the same reason as the above. However, the delay in providing the vehicles has been detrimental for the field activities of the Project.

3.3 Counterpart Training

The administrative procedure for selecting the trainees for the counterpart training was not well understood by both Vietnamese and Japanese sides. Consequently, two Vietnamese counterparts were nominated instead of three persons allocated for this counterpart training in Japan.

3.4 Revision of Project Design Matrix (PDM)

Based on the recommendations made by the short-term expert for the Management of Information System (MIS) according to the findings of his study in project areas, the overall goal and its indicators, and the appropriate verifiable indicators for the project purpose were reviewed and PDM was revised and agreed on.

Annex 5 for the detail of the revision.

3.5 Change in the number of the target communes

In Nghi Loc District, it was found that there is a French NGO supported by EU fund which has been providing assistance similar to the JICA RH Project for nine communes. In light of this, upon the request of Vietnamese side, it is recommended to withdraw JICA assistance from those 9 communes in order to avoid the duplication.

3.6 Plan of Operations

Due to the delayed start of the project activities, there has been a serious time constraint in preparing the Plan of Operations for 1997 based on the thorough discussion among the Provincial Steering Committee members.

4. Future Plan

4.1 Work plan for Japanese Fiscal Year 1998 onwards

The Consultation Team and the People's Committee of Nghe An Province have agreed upon the following work plan for 1998 Japanese Fiscal Year. The activities will be carried out according to the plan of operation.

Annex 6 for the detail of the work plan for 1998.

4.1.1 Dispatch of Japanese short-term experts

Short-term experts will be dispatched as needed covering the following areas, such as;

- 1) Reproductive Health Survey;
- 2) Health service and management;
- 3) IEC;
- 4) MCH/FP administration;

Uay
210

- 5) Midwifery education;
- 6) Obstetrics and Gynecology;
- 7) Community-based MCH promotion activities;
- 8) Project management; and
- 9) Health information management

Annex 7 for the detail of the short-term experts.

- 4.1.2 Supply of equipment
 - A. Supply of equipment for CHC
 - B. Supply of equipment for MCH/FP Center
 - C. Supply of equipment for DHC

The priority is given to the x-ray for MCH/FP Center and the medical equipment for CHC. The rest of the equipment will be supplied depending on the availability of 1998 budget.

Annex 8 for the detail of the supply of equipment.

- 4.1.3 Training of Vietnamese Personnel in Japan (Counterpart training)

Three Vietnamese personnel i.e. two from Nghe An Province and one from Ministry of Health (MOH) will be trained in Japan.

- 4.1.4 Training of Middle level Manpower
 - A. Re-training of CHC staff

Five one-month courses will be organized to train twenty-five CHC staff per course. A total of 125 CHC staff will be trained.

- B. Training of DHC mobile team and/or ob-gyn staff

Two training courses are planned for the training of DHC mobile team. Five persons each from eight districts will be trained. A total of 40 people will be trained.

Annex 9 for the detail of the middle level manpower.

- 4.1.5 Training and Workshops

IEC training for the members of the Women's Union will be conducted.

- 4.1.6 Other: Support by the Grant Assistance for Grass-roots Projects (GAGRP)

The People's Committee of Nghe An Province has been making efforts in improving the condition of CHC facilities, however, there are some difficulties encountered. In order to supplement its efforts, a proposal has been submitted to the Japanese Government for the assistance to the Project through GAGRP in purchasing raw materials for CHC renovation.

- 4.2 Plan of Operations

A draft Plan of Operations for 1998 and 1999 was prepared and submitted for the authorization at the Joint Committee Meeting. At the meeting, JICA Consultation Team and the People's Committee of Nghe An Province has approved and adopted the Plan of Operations.

Annex 10 for the Plan of Operations

Ular *ZH*